

# ～市民の力で“宮古まち”に賑わいを season2～

平成27年度地域政策研究センター（地域提案型・後期）採択課題

課題名：中心市街地の活性化に向けた市民参加型戦略の基礎研究

研究代表者：盛岡短期大学部 准教授 内田信平

課題提案者：宮古市

研究メンバー：多田康、岩間健、竹田真人（宮古市企画部復興推進課）

技術キーワード：震災復興、まちづくり、まち育て、ワークショップ、中心市街地活性化

## ▼研究の概要（背景・目標）

平成26年度後期の宮古市との地域協働研究（中心市街地の活性化に向けた市民参加型構想の研究）では、市民組織「まちづくり市民会議」の形成を行いワークショップ形式の会合を計8回実施した。中心市街地で「何をしたいか、どう過ごしたいか」という視点での意見共有を行うことができた。本研究では、新拠点施設の活用、現市庁舎跡地の活用を念頭に、市民によるアイデアの具体化を目指す。

## ▼研究の内容（方法・経過）

昨期のワークショップ参加者を中心として「まちづくり市民会議season2」（第2期）の活動を実施した。平成28年9月までに、アイデアの実現に向けたワークショップ形式での話し合いを計7回実施した。平成28年11月に、中心市街地の3ヶ所のエリアを会場として、これまでのワークショップで育んだアイデアを実践する場「みやこ・わくわくストリート2016」を実施した。

## ▼これまでに得られた研究の成果

### ■市民ワークショップの実施（H27.12～H28.9）

計7回の市民ワークショップを実施。第1回から第3回のワークショップでは、まちなかでどんなことをしたいかイメージするところからスタートし、アイデアを出し合った。第4回から第7回は、4つのプロジェクトに分かれて、それぞれ、アイデアを具体化するための話し合いを行い、実現へ向けての準備を行った。



### ■「みやこ・わくわくストリート2016」開催（H28.11.6）

平成28年11月6日（日）、末広町商店街から市役所分庁舎駐車場までの3ヶ所のエリアを会場として、これまでのワークショップで育んだアイデアを実践する場「みやこ・わくわくストリート2016」を開催した。当日は好天に恵まれ、多くの市民の皆さんにご来場いただくことができた。また、他団体とも連携し「まんなかマルシェ」や「みやこほっこり映画祭」のイベントも、同日開催された。中心市街地の商店街の駐車場や空き店舗だった「空間」が、生き生きとした活動の「場所」に変わる様子を目の当たりにした1日となった。



宮古市アクティビティ部フェスティバル2016

商店街の駐車場が、子ども向けのスポーツ体験広場に変身！



茶っとプロジェクト—小成園cafe

商店街の空き店舗で、カフェと参加型モザイクアートを実施



健康長生きプロジェクト—茶っと、はじめてみヨ

〜ガ  
ヨガ体験と、地元産ハーブティーの試飲



昭和感プロジェクト—みやっこ商店

駄菓子や昔のおもちゃの販売と、けん玉やメンコなどの昔遊び体験

## ▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 1.参加した市民に、自らが当事者となって関わる＝「まちを育てる」という意識が芽生え、一定の成果（市民参加や反響など）を実感することができた。特に、他の団体との連携による活動の広がりの可能性も認められた。
- 2.宮古市内のまちなかに存在する伝統的な商家（旧家）の土蔵などを地域資源として捉え、これらが賑わいの場の核となりうる可能性が示唆された。
- 3.今後は、「行政主導から脱却し、市民主体の活動への移行、継続が必要」との仮説を立て、市民が将来に向けて関わり育てていく賑わいの場の創出を、実証活動を通して具体的に提案することを目指す。